放火火災防止用チェックシート

個人用（４枚）

事務所用（４枚）

地域用（６枚）

この資料は、総務省消防庁による「放火火災防止対策戦略プラン」のチェックシートから抜粋したものです。

川崎市消防局

○ 評価シートA （個人用）

A. あなたのお宅の放火火災に対する危険度の評価シート

以下の質問に答えて、放火火災に対するご自分の家の危険度をチェックしてみましょう。

	質問	回答
1	前面道路は、主として近隣者だけが通行する道路ですか？	□はい □いいえ
2	付近の道路は、深夜でも人通りがありますか？	□多少・かなりある □ほとんどない
3	建物前面の道路には、街路灯が設置されていますか？	□はい □いいえ
4	自宅付近で放火が発生したこと（聞いたこと）がありますか？	□発生したことがない □発生したことがある
5	付近で暴力事件、ひったくり、痴漢等が発生したこと（聞いたこと）がありますか？	□発生したことがない □発生したことがある
6	門扉には夜間鍵をかけていますか？	□はい □いいえ・門扉がない
7	道路に面した車庫や物置には夜間鍵をかけていますか？	□はい・道路に面した車庫や物置がない □いいえ
8	敷地内に他人が簡単に入りにくくなっていますか？	□入りにくい □入りやすい
9	深夜でも玄関灯や門灯をつけていますか？	□はい □いいえ・玄関灯や門灯がない
10	長期に留守する際、新聞配達を止める、室内の照明を点灯させておく等、放火対策として心がけていることはありますか？	□はい □いいえ
11	侵入監視センサー、熱線センサー付き照明器具のいずれかを設置していますか？	□はい □いいえ
12	建物のまわりや共用の廊下・階段に、新聞や雑誌等の燃えやすいものは置いてありませんか？	□置いていない □置いている
13	ごみは回収日の決められた時間帯に出すようにしていますか？	□はい □いいえ
14	自転車・バイクのカゴ等に、燃えやすいものを放置しないよう心掛けていますか？	□はい □いいえ
15	郵便受けの新聞等は早目に取り込んでいますか？	□はい □いいえ
16	車両・バイク・自転車には、ボディーカバーを使用していますか？	□車両を使用していない・防炎製品のボディカバーを利用している □通常のボディカバーを使用している
17	住宅用火災警報器を設置していますか？	□はい □いいえ
18	火災発生時の119番通報について、家族や近隣と話し合ったことがありますか？	□はい □いいえ
19	家庭内に消火器等を設置していますか？	□はい □いいえ
20	消火器等の使用方法は、ご自分を含め家族の皆さんが知っていますか？	□はい □いいえ
21	付近に監視カメラ等の放火火災対策機器は設置されていますか？	□はい □いいえ・知らない
22	隣近所と気軽に声を掛け合っていますか？	□はい □いいえ
23	特に宿泊するような外出時には、隣近所へ声をかけていますか？	□はい □いいえ
24	近隣者と放火火災防止の取り組みについて話し合ったことがありますか？	□はい □いいえ
25	家族や近隣と放火火災防止のための話し合いをすることはありますか？	□はい □いいえ
26	地域で火災予防講習会等が開催される場合、参加しますか？	□できるだけ参加する □参加しない

全ての回答欄にチェックを入れ終わりましたら、「採点票」を用いて採点してみましょう。 → 「採点票」へ進む

○ 採点票 （個人用）

先ほどの評価シートA（個人用）でチェックした回答内容と、下表の回答内容が一致したものだけが得点することができます。

得点したものについては配点欄に○印を付け、そして、○印で囲んだ得点を中項目ごとに集計してみましょう。

中項目	質問番号（小項目）	回答内容	配点	中項目ごとの合計点
1 環境要因	1	はい	20	点
	2	多少・かなりある	19	
	3	はい	25	
	4	発生したことがない	18	
	5	発生したことがない	18	
2 敷地・建物への侵入防止	6	はい	19	点
	7	はい・道路に面した車庫や物置がない	18	
	8	入りにくい	13	
	9	はい	20	
	10	はい	18	
	11	はい	12	
3 可燃物等の整理	12	置いていない	24	点
	13	はい	21	
	14	はい	17	
	15	はい	20	
	16	車両を使用していない・防炎製品のボディーカバーを利用している	18	
4 火災の初期対応	17	はい	17	点
	18	はい	21	
	19	はい	21	
	20	はい	24	
	21	はい	17	
5 家族や近隣との協力体制	22	はい	20	点
	23	はい	16	
	24	はい	23	
	25	はい	21	
	26	できるだけ参加する	20	

自由意見欄 （回答を終えた感想等をご記入ください。）

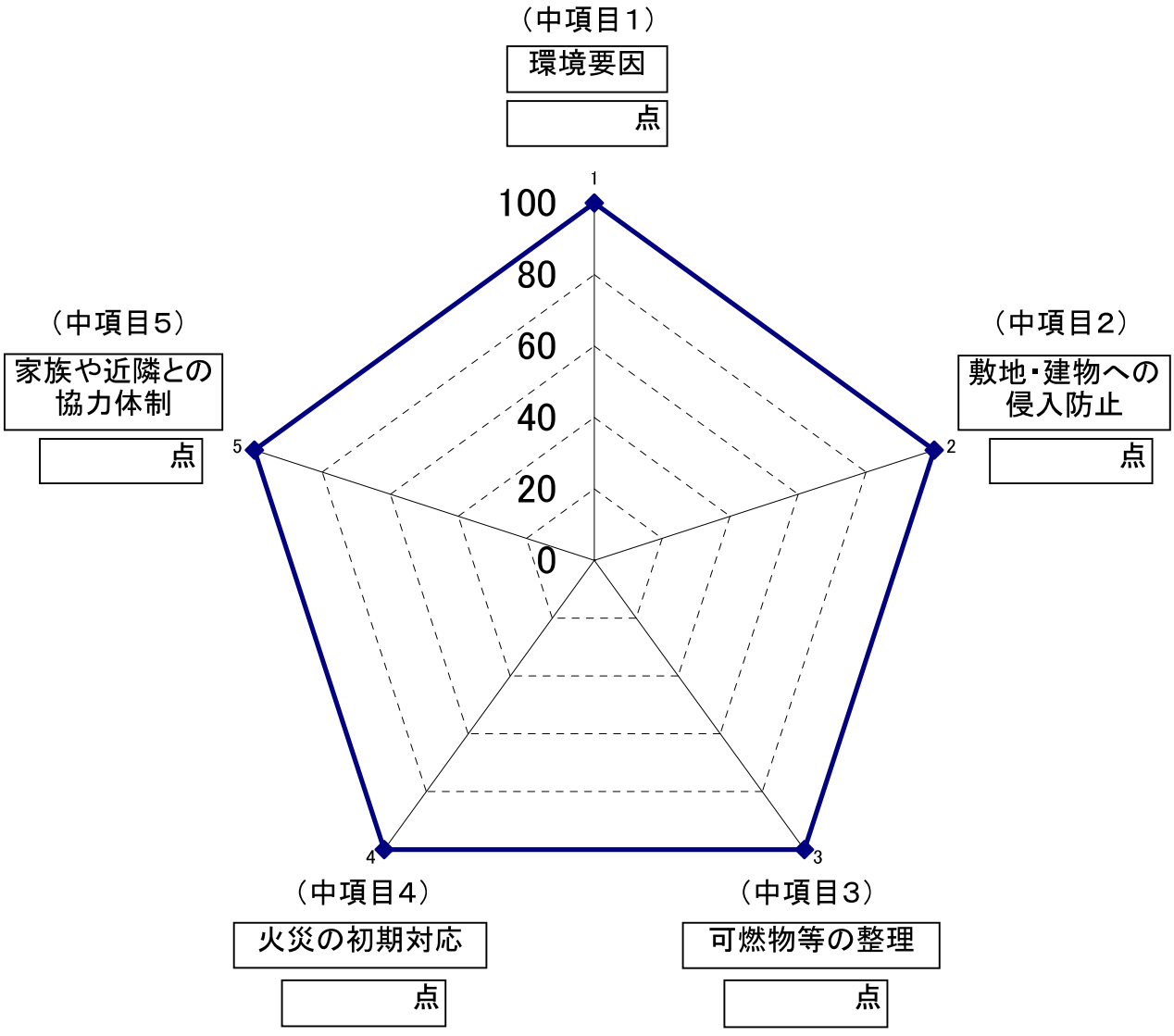
中項目ごとの合計点を記入し終えましたら、「評価結果票」を用いてレーダーチャートに中項目ごとの合計点を転記し、自己評価してみましょう。 → 「評価結果票」へ進む

○ 評価結果票 （個人用）

あなたのお宅の放火火災に対する危険度　評価結果

採点結果票の中項目の合計点をレーダーチャートに転記してみましょう。

そして、中項目ごとの合計点の位置を線で結んでみましょう。



得点の低い中項目については「対策集例（個人用）」を参考にして、有効な対策を講じましょう。

→ 「対策集例」へ進む

○ 対策集例 （個人用）

A. あなたのお宅における放火火災の防止に向けた対策集例

中項目	対 応 策 の 具 体 例
1. 環境要因	◆自治会が行うパトロールに参加する。 ◆地域における一声運動に心掛ける。 ◆街路灯の設置や玉切れの交換を自治会等に要望する。 ◆不審な通行人に気付いたら動向に注意する。 ◆放火監視機器設置済の表示を出す。
2. 敷地・建物への侵入防止	◆門扉・車庫・物置等、夜間における施錠管理に心がける。 ◆容易に開錠されないための防犯ブザーを設置する。 ◆建物や敷地に死角をつくる要因となる物の整理整頓を行う。 ◆死角となる箇所に侵入監視センサー等を導入する。 ◆これらの機器が作動した場合の初動対応について把握しておく。 ◆地域連携の警戒パトロールに参加する。 ◆玄関先を明るくするための照明器具の導入を進める。 ◆長期間留守にする場合には、新聞配達を止めるようにする。 ◆長期間留守にする場合には、近隣住民への声かけを行う。 ◆チェーンロックを使用する。 ◆インターホンシステムを導入する。 ◆建物外壁の不燃化と補修を行う。
3. 可燃物等の整理	◆可燃物は部外者の目に届かない場所に整理整頓する ◆ごみの回収日を把握しておく。 ◆ごみ回収のルールを徹底する。 ◆自転車等のカゴに物を放置しないようにする。 ◆車両等のボディカバーは防炎製品を使用する。 ◆新聞やチラシはこまめに取り込む。 ◆郵便受けから新聞やチラシがはみ出さないよう、業者に依頼する。
4. 火災の初期対応	◆消火器や簡易消火具を設置する。 ◆消火器の使用方法は家族みんなが把握しておく。 ◆放火監視機器や住宅用火災警報器を導入する。 ◆これらの機器が作動した場合の初動対応について、把握しておく。 ◆消防署・自治会・町会等が行う消火活動訓練に参加する。
5. 家族や近隣との協力体制	◆近隣者との親睦を深め、お互いの放火火災防止の工夫など話し合っておく。 ◆長期不在や外出時には、「お隣さんへ一声かけて」運動をお互いに習慣づける。 ◆町会・自治会を母体とした自主防災組織への参加意識を高める。 ◆日頃から家族で放火火災防止対策の心構えを話し合っておく。 ◆地域で開催される防火講習会や消防訓練等に参加し、放火火災予防への関心を高める。 ◆広報資料やパンフレットの内容を理解し、防火意識の向上を心掛ける。 ◆幼年・少年消防クラブ活動の趣旨を理解し、防火を通じた子供たちの育成に協力する。

○ 評価シートB （事業所用）

B. あなたの勤め先の放火火災に対する危険度のチェックシート

以下の質問に答えて、放火火災に対するご自分の勤務先の危険度をチェックしてみましょう。

	質問	回答
1	事業所周辺の道路には、街路灯が設置されていますか？	□はい □いいえ
2	事業所周辺の道路は、深夜でも人通りがありますか？	□多少・かなりある □ほとんどない
3	事業所周辺の道路は、主として近隣者だけが通行する道路ですか？	□はい □いいえ
4	事業所付近で放火が発生したこと（聞いたこと）がありますか？	□発生したことがない □発生したことがある
5	事業所付近で暴力事件、ひったくり、痴漢等が発生したこと（聞いたこと）がありますか？	□発生したことがない □発生したことがある
6	事業所の出入業者を確実に把握し、出入り管理を徹底していますか？	□はい □いいえ
7	使用していない出入口や物品倉庫等の施錠管理は徹底していますか？	□はい □いいえ
8	深夜でも常夜灯などで入口を明るくしていますか？	□はい □いいえ
9	事業所の周囲や、トイレ、階段等、死角となりやすい箇所の巡回警備は実施していますか？	□はい □いいえ
10	特に夜間や休日の巡回警備を実施していますか？	□はい □いいえ
11	侵入監視センサー、熱線センサー付き照明器具のいずれかを設置していますか？	□はい □いいえ
12	事業所の周囲等、他人の目の届く所に、新聞や雑誌等の燃えやすいものは置いてありませんか？	□置いていない □置いている
13	ごみは回収日の決められた時間帯に出すようにしていますか？	□はい □いいえ
14	トイレや階段等、事業所内で死角となりやすい箇所を定期的に巡回し、可燃物を整理・除去する体制はありますか？	□はい □いいえ
15	郵便受けの郵便物等は早目に取り込んでいますか？	□はい □いいえ
16	やむを得ず屋外に製品や材料等を置く場合、部外者の目に触れないよう、それらを防炎シートで覆っていますか？	□はい・可燃物を置かない □いいえ
17	自動火災報知設備が設置されていますか？	□はい・設置義務がない □いいえ
18	定期的に消防訓練を実施する等、従業員への指導・教育を行っていますか？	□はい □いいえ
19	防火対象物や消防用設備等の点検を定期的に実施し、消防署に届け出ていますか？	□はい □いいえ
20	消防用設備等（例：消火器）の使用方法は、従業員全員に徹底していますか？	□はい □いいえ
21	付近に監視カメラ等の放火火災対策機器は設置していますか？	□はい □いいえ・知らない
22	防火管理者を選任し、消防署への届け出は行ってありますか？	□はい・届出義務がない □いいえ・分からない
23	事業所で定める消防計画の役割分担は、全ての従業員に周知させていますか？	□はい □いいえ
24	出入口や休憩室に、放火火災に関する注意を呼びかけるポスターや立て看板を掲示していますか？	□はい □いいえ
25	各職場の火元責任者レベルで、放火火災予防対策を徹底するための会議を定期的に開催していますか？	□はい □いいえ
26	地域町内会等と連携し、放火火災予防対策用の広報を実施していますか？	□はい □いいえ

全ての回答欄にチェックを入れ終わりましたら、「採点票」を用いて点数を付けてみましょう。 → 「採点票」へ進む

○ 採点票 （事業所用）

先ほどの評価シートB（事業所用）でチェックした回答内容と、下表の回答内容が一致したものだけが得点することができます。

得点したものについては配点欄に○印を付け、そして、○印で囲んだ得点を中項目ごとに集計してみましょう。

中項目	質問番号（小項目）	回答内容	配点	中項目ごとの合計点
1 環境要因	1	はい	20	点
	2	多少・かなりある	19	
	3	はい	25	
	4	発生したことがない	18	
	5	発生したことがない	18	
2 敷地・建物への侵入防止	6	はい	19	点
	7	はい	16	
	8	はい	18	
	9	はい	18	
	10	はい	17	
	11	はい	12	
3 可燃物等の整理	12	置いていない	24	点
	13	はい	21	
	14	はい	17	
	15	はい	20	
	16	はい・可燃物を置かない	18	
4 火災の初期対応	17	はい・設置義務がない	17	点
	18	はい	21	
	19	はい	21	
	20	はい	24	
	21	はい	17	
5 家族や近隣との協力体制	22	はい・届出義務がない	20	点
	23	はい	16	
	24	はい	23	
	25	はい	21	
	26	はい	20	

自由意見欄 （回答を終えた感想等をご記入ください）

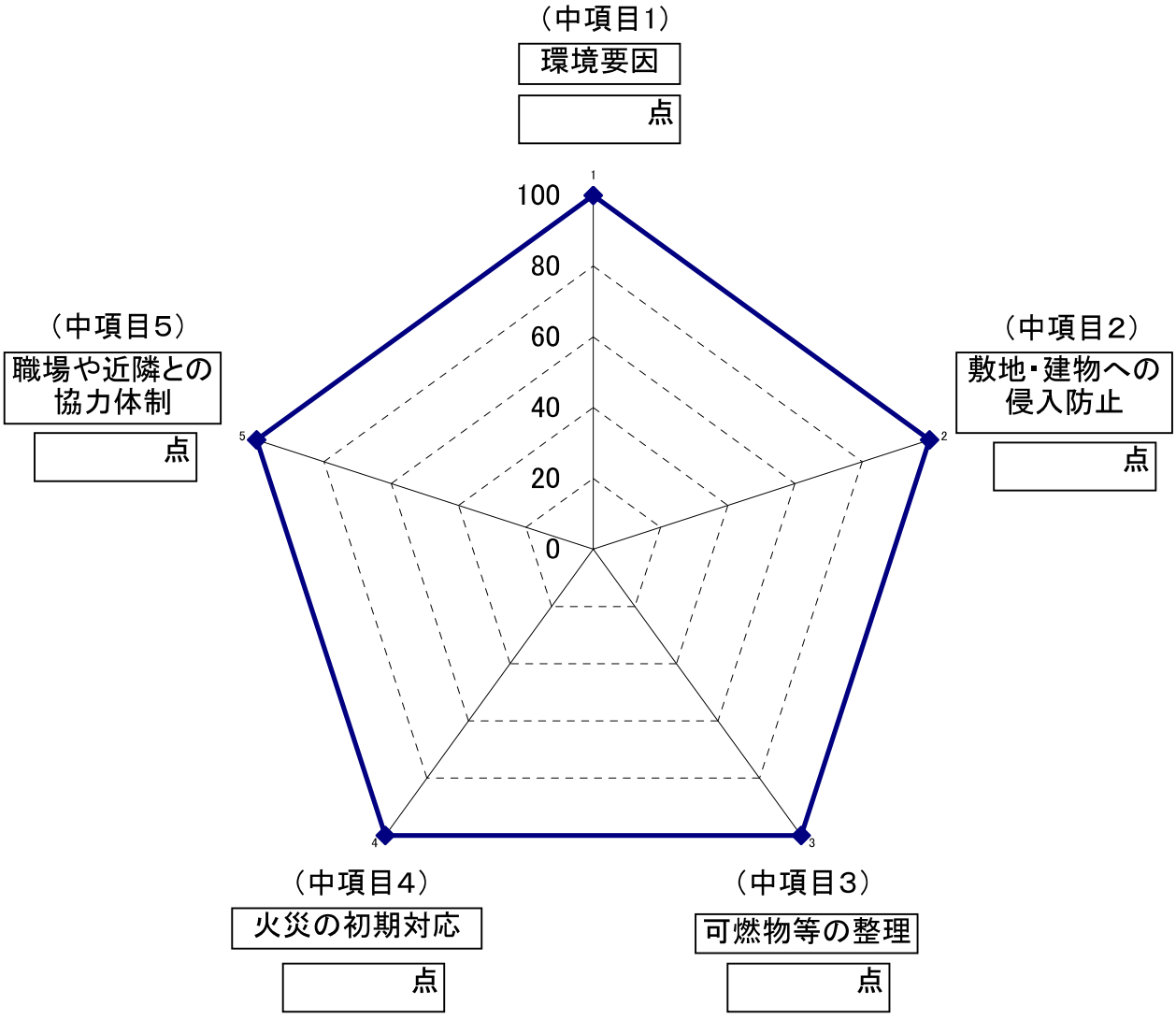
中項目ごとの合計点を記入し終えましたら、「評価結果票」を用いてレーダーチャート上に中項目ごとの合計点を転記し、自己評価してみましょう。 → 「評価結果票」へ進む

○ 評価結果票 （事業所用）

あなたの勤め先の放火火災に対する危険度　評価結果

採点結果票の中項目の合計点をレーダーチャートに転記してみましょう。

そして、中項目ごとの合計点の位置を線で結んでみましょう。



得点の低い中項目については「対策集例（事業所用）」を参考にして、有効な対策を講じましょう。

→ 「対策集例」へ進む

○ 対策集例 （事業所用）

B. あなたの勤め先における放火火災の防止に向けた対策集例

中項目	対 応 策 の 具 体 例
1. 環境要因	◆自治会と連携して行うパトロールに努めて参加する。 ◆地域における一声運動に心掛けるよう、従業員に指導する。 ◆周辺の街路灯設置や玉切れの交換を自治会等に要望する。 ◆不審な通行人に気付いたら動向に注意するよう、従業員に指導する。
2. 敷地・建物への侵入防止	◆事業所の出入口や倉庫・車庫・物置等は、夜間の施錠管理を徹底する。 ◆夜間・休日でも容易に開錠されないための防犯ブザーを設置する。 ◆出入管理体制を確立し、不法侵入を防止する。 ◆出入口や通用口をある程度特定し、監視体制を強化する。 ◆勤務時間内に無人となる空室、物品倉庫、更衣室等は施錠する。 ◆死角となる箇所に侵入監視センサー等を導入する。 ◆これらの機器が作動した場合の初動対応について把握しておく。 ◆地域連携の警戒パトロールに参加する。 ◆事業所の入口に常夜灯を設ける等、照明器具の導入を進める。 ◆夜間や休日の巡回警備を行う。 ◆建物外壁の不燃化と補修を行う。
3. 可燃物等の整理	◆事業所の周囲や廊下・階段に死角をつくる要因となる可燃物等の整理整頓を行う。 ◆止むを得ず屋外に廃材やごみ等の可燃物を置く場合、防炎シートで覆う。 ◆ごみの回収日を把握し、回収時間帯に合わせて出す。 ◆ごみ回収のルールを徹底する。 ◆事業所の周囲やトイレ、階段等、死角となりやすい箇所について、可燃物の整理除去を定期的に行う。 ◆新聞や受信文書等はこまめに取り込む。 ◆郵便受けから新聞やチラシがはみ出さないよう、業者に依頼する。
4. 火災の初期対応	◆自動火災報知設備等が発報した場合の初動対応を徹底しておく。 ◆消火器や屋内外の消火栓による消火方法を徹底する。 ◆定期的に消防訓練を実施する。 ◆消防署・自治会・町会等と連携して行う消防訓練に参加する。 ◆必要に応じて放火監視機器の導入を検討する。
5. 職場や近隣との協力体制	◆近隣事業者や自治体との交流を深め、お互いの放火防止の工夫など話し合っておく。 ◆出入口や休憩室に、放火火災予防を注意喚起するポスター等を掲示する。 ◆町会・自治会を母体とした自主防災組織への参加意識を高める。 ◆防火管理者・防火責任者・保安責任者等を選任している場合は、常に職責が果たせるよう研鑽する。 ◆地域で開催される防火講習会や消防訓練等に参加し、放火火災予防への関心を高める。 ◆全従業員やテナント関係者に対して、放火火災予防を含めた防火防災の指導・教育を行う。 ◆広報資料やパンフレットを従業員に配布し、防火意識の向上を図る。 ◆火元責任者レベルで放火火災予防対策に関する会議を定期的に開催する。

○ 評価シートC （地域用）

C. あなたの地域の放火火災に対する危険度のチェックシート

以下の質問に答えて、放火火災に対するご自分の住んでいる地域の危険度をチェックしてみましょう。

	質問	回答
1	街路灯の設置状況は、充足されていますか？	□はい・ほぼ充足されている □いいえ
2	地域内に、消防署や出張所、警察署や派出所などの施設はありますか？	□はい □いいえ
3	人気の少ない（神社・寺院や重要史跡等）放火されやすい建物がありますか？	□ない □ある
4	最近、地域内で放火火災が発生したこと（聞いたこと）がありますか？	□発生したことがない □発生したことがある
5	最近、地域内で暴力事件、ひったくり、痴漢等不穏な事件が発生したこと（聞いたこと）がありますか？	□発生したことがない □発生したことがある
6	地域内には、住宅や店舗・雑居ビル等が密集した場所がありますか？	□ない □ある
7	夜間の不法駐車や乗り捨て自転車など、放火されやすいものが比較的多い地域ですか？	□少ない地域である □多い地域である
8	夜間に照明が設けられていない、出入りが容易な駐車場はありますか？	□ない □ある
9	地域内には、空き家・空きビル・空室等で、違法侵入のおそれのある建物が多いですか？	□少ない □多い
10	密集住宅等の隣棟間のすき間は、木戸等で囲うなど、部外者の侵入防止を行っていますか？	□はい □いいえ
11	店舗等のバックヤードには、柵等の進入対策がなされていますか?	□はい □いいえ
12	管理が必要な共用施設（体育館・倉庫等）の施錠管理は徹底していますか？	□はい □いいえ
13	放火防止のちらしを作成したり、ポスターや立て看板等を設置していますか？	□はい □いいえ
14	侵入監視センサー、熱線センサー付き照明器具等の設置を促進していますか？	□はい □いいえ
15	地域内には、監視カメラ等の放火火災対策機器は設置されていますか？	□はい □いいえ
16	ごみの集積場所以外にごみが放置される傾向がありますか？	□放置される傾向がない □放置される傾向がある
17	ごみ集積場所におけるごみ出しのルールは守られていますか？	□はい □いいえ
18	新築・増改築工事現場等で、放火されやすい物が放置されていませんか？	□放置されていない □放置されている
19	道路面で枯れ草等、放火されやすい危険な場所が放置されていませんか？	□放置されていない □放置されている
20	住宅の郵便受近辺に可燃物等が散乱しないよう注意を喚起していますか?	□はい・散乱していない □いいえ
21	自動販売機の周囲にペットボトルや段ボール等の可燃物が放置されないよう注意を喚起していますか?	□はい □いいえ

22	地域内の路上で、消火栓上の違法駐車をよく見かけますか？	□見かけない □見かける
23	住宅用消火器等の消火具は、地域内で普及していると思われますか？	□はい □いいえ
24	火災が起こった場合の初期消火方法・通報連絡の手順について、住民に浸透していると思いますか？	□はい □いいえ
25	街頭消火器や防火バケツは設置されていますか？	□はい □いいえ
26	消火活動に関する訓練を定期的に行っていますか。	□はい □いいえ
27	住宅用火災警報器は、地域内で普及していると思いますか？	□はい □いいえ
28	消防署に、消火器による消火訓練等の依頼をした事がありますか？	□はい □いいえ
29	消防署などの消防関連機関と連携して、春秋の火災予防運動時等に火災予防運動に取り組んでいますか?	□はい □いいえ
30	地域内で、回覧板の制度はありますか？	□はい □いいえ
31	町内会・自治会等で緊急連絡網はありますか？	□はい □いいえ
32	町内会や自治会等の会合は、2ヶ月に1度程度以上、定期的に行われていますか？	□はい □いいえ
33	町内会・自治会では、他の地域との防災に関する意見交換を行ったことがありますか？	□はい □いいえ
34	町内会・自治会では、防災などについて、他の町内会等が行っている方策が、どのようなものかご存知ですか?	□はい □いいえ
35	消火器等の設置場所について十分な広報を行っていると思いますか？	□はい □いいえ・消火器が設置されていない
36	町内会・自治会・商店会・団地等で、放火火災防止に関する話し合いが行われていますか？	□はい □いいえ・わからない
37	自主防災組織や町内会・自治会等において、犯罪抑止の警戒パトロールを実施していますか？	□はい □いいえ
38	建物外周部や駐車場等の放火火災危険箇所について、住民・事業所が主体的に確認するよう、働きかけていますか？	□はい □いいえ
39	放火火災防止対策は、地域ぐるみの取り組みが有効だと思いますか？	□はい □いいえ
40	放火火災防止対策に関し、地域住民の意識・関心は高いと思われますか？	□はい □いいえ
41	地域ぐるみで防災指導会等の活動や行事を定期的に行っていますか？	□はい □いいえ

全ての回答欄にチェックを入れ終わりましたら、「採点票」を用いて点数を付けてみましょう。 → 「採点票」へ進む

○ 採点票 （地域用）

先ほどの評価シートC（地域用）でチェックした回答内容と、下表の回答内容が一致したものだけが得点することができます。

得点したものについては配点欄に○印を付け、そして、○印で囲んだ得点を中項目ごとに集計してみましょう。

中項目	質問番号（小項目）	回答内容	配点	中項目ごとの合計
1 環境要因	1	はい・ほぼ充足されている	19	点
	2	はい	14	
	3	ない	11	
	4	発生したことがない	13	
	5	発生したことがない	14	
	6	ない	14	
	7	少ない地域である	15	
2 敷地・建物への侵入防止	8	ない	12	点
	9	少ない	16	
	10	はい	11	
	11	はい	11	
	12	はい	11	
	13	はい	15	
	14	はい	12	
	15	はい	12	
3 可燃物等の整理	16	放置される傾向がない	20	点
	17	はい	15	
	18	放置されていない	18	
	19	放置されていない	18	
	20	はい・散乱していない	15	
	21	はい	14	

4 火災の 初期対応	22	見かけない	13	点
	23	はい	15	
	24	はい	16	
	25	はい	15	
	26	はい	16	
	27	はい	13	
	28	はい	12	
5 コミュニティ	29	はい	15	点
	30	はい	14	
	31	はい	14	
	32	はい	14	
	33	はい	15	
	34	はい	14	
	35	はい	14	
6 住民同士の 協力体制	36	はい	17	点
	37	はい	18	
	38	はい	18	
	39	はい	14	
	40	はい	17	
	41	はい	16	

自由意見欄 （回答を終えた感想等をご記入ください）

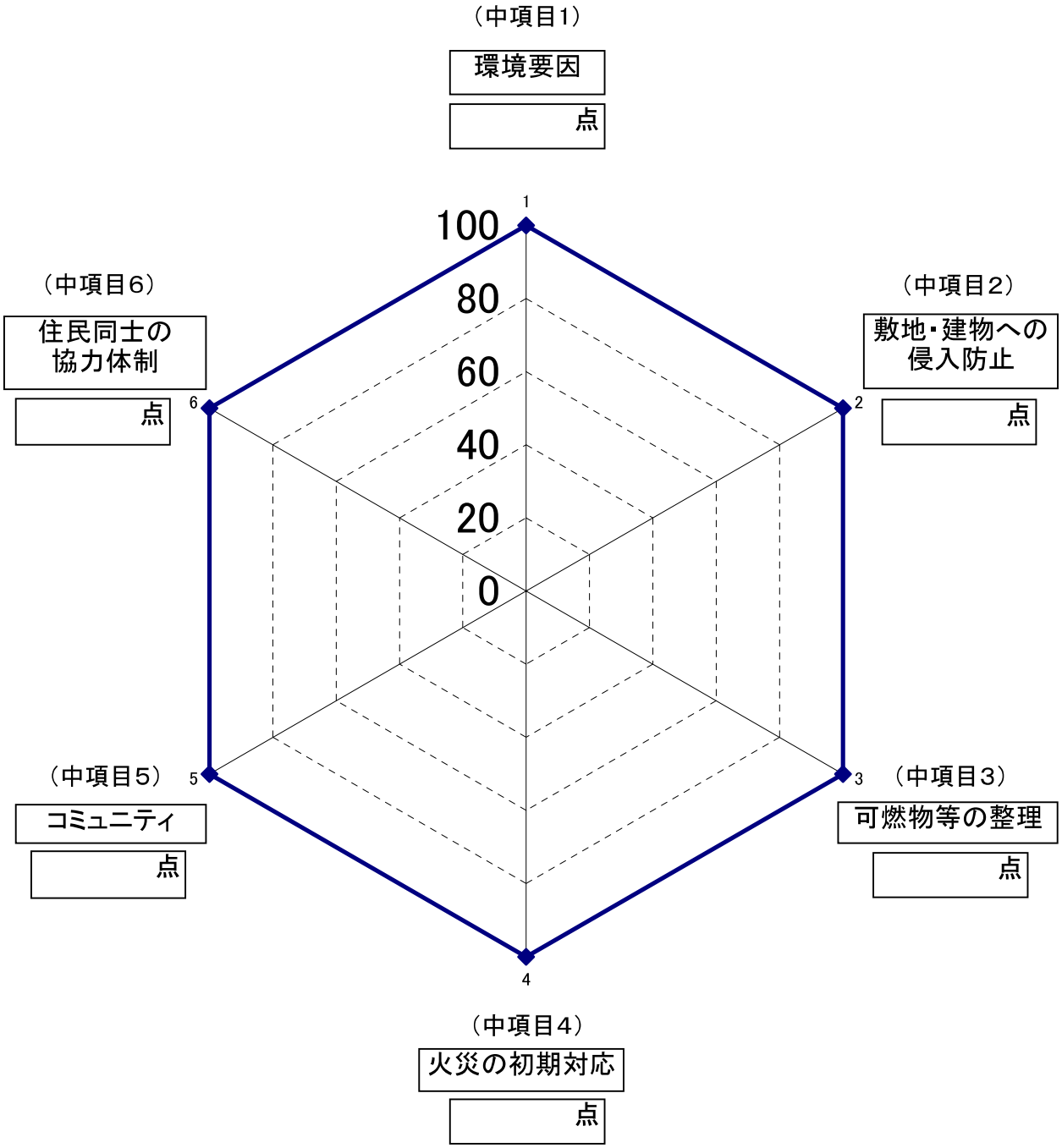
中項目ごとの合計点を記入し終えましたら、「評価結果票」を用いてレーダーチャートに中項目ごとの合計点を転記し、自己評価してみましょう。　→ 「評価結果票」へ進む

○ 評価結果票 （地域用）

あなたの地域の放火火災に対する危険度　評価結果

採点結果票の中項目の合計点をレーダーチャートに転記してみましょう。

そして、中項目ごとの合計点の位置を線で結んでみましょう。



得点の低い中項目については「対策集例（地域用）」を参考にして、有効な対策を講じましょう。

→ 「対策集例」へ進む

○ 対策集例 （地域用）

C. あなたの地域における放火火災の防止に向けた対策集例

中項目	対 応 策 の 具 体 例
1. 環境要因	◆警察等と連携し、警戒パトロールを実施する。 ◆街路灯の整備を行政の担当部署に要望し、明るい道路の実現を目指す。 ◆地域内の一声運動を実施し、不審者への警戒態勢を強める。 ◆不審者に気付いたら、動向を注視する。 ◆放火監視機器等の導入を行政の担当部署に要望し、放火防止に役立てる。 ◆放火監視機器設置済の表示を出す。 ◆一戸一灯運動を実施する。
2. 敷地・建物への侵入防止	◆空き家等、不審者の進入防止対策について、地域ぐるみの取組みを行う。 ◆警察と連携し、パトロールを実施する。 ◆放火火災防止のパンフ・ちらし・立て看板等の作成配布を行う。 ◆地域に対する広報資料により、放火火災防止に対する警戒心を高める。 ◆侵入監視センサー等の機器導入について,自治会・行政機関の担当者が連携して促進を図る。 ◆放火監視機器等が作動した場合の初動対応について、広報活動を通じて地域住民に周知しておく。 ◆建築工事中の建物への不審者の侵入等に注意する。
3. 可燃物等の整理	◆地域内のごみ出しのルールを徹底させる。 ◆定期的にごみ集積場所の清掃を行う。 ◆お互いに可燃物を放置しないよう、地域内に呼びかける。 ◆工事材料や廃材等可燃物の整理整頓について、工事責任者に指導する。 ◆放火火災防止の観点から、警察・道路管理者等との協力により放置車両の移動や違法広告物の撤去を徹底する。 ◆郵便受けから新聞やチラシがはみ出さないよう、業者に依頼する。 ◆枯れ草等の出火危険場所は、消防・自治会が協力して関係者に指導する。 ◆不法投棄されたごみについて、清掃事務所等へ撤去を依頼する。
4. 火災の初期対応	◆警察・道路管理者等との協力により放置車両の移動や撤去を徹底する。 ◆家庭用消火器の設置を推進するよう住民に広報する。 ◆不法駐車禁止等の立て看板等を設置し、消防活動阻害要因の排除を呼びかける。 ◆消火器の使用方法や通報連絡の手順について、自治会等の訓練を通じて住民に指導する。 ◆地域の実情応じて、街頭消火器の設置を行政に要望する。 ◆消防訓練や講習会により、近隣協力体制の強化を図る。
5. コミュニティ	◆放火火災予防における地域協力の重要性について、住民の認識を高める。 ◆地域でセミナーや行事を積極的に企画し、地域住民の連携を深める。 ◆旅行等不在時の用心のため、お互いに近隣への声かけ運動を習慣づける。 ◆不審者の動向を注視する等、地域一体的な警戒心を高める。 ◆自主防災組織や町内会・自治会等の連携による放火火災予防対策への取組みを強化する。
6. 住民同士の協力体制	◆連続放火が発生している場合、消防車のサイレンが聞こえた際、一斉に照明を点灯したり、窓を開けたりする。 ◆放火火災予防における地域協力の重要性について、住民の認識を高める。 ◆地域でセミナー等を積極的に企画し、地域住民の連携を深める。 ◆旅行等不在時の用心のため、お互いに近隣への声かけ運動を習慣づける。 ◆不審者の動向を注視する等、地域一体的な警戒心を高める。 ◆自主防災組織や町内会・自治会等の連携による放火火災予防対策への取組みを強化する。 ◆発災時対応訓練や講習会を積極的に実施し、近隣者による連携体制を強化する。 ◆自治会等メーリングリストで注意喚起メールを出す。